



# CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0 出展報告レポート

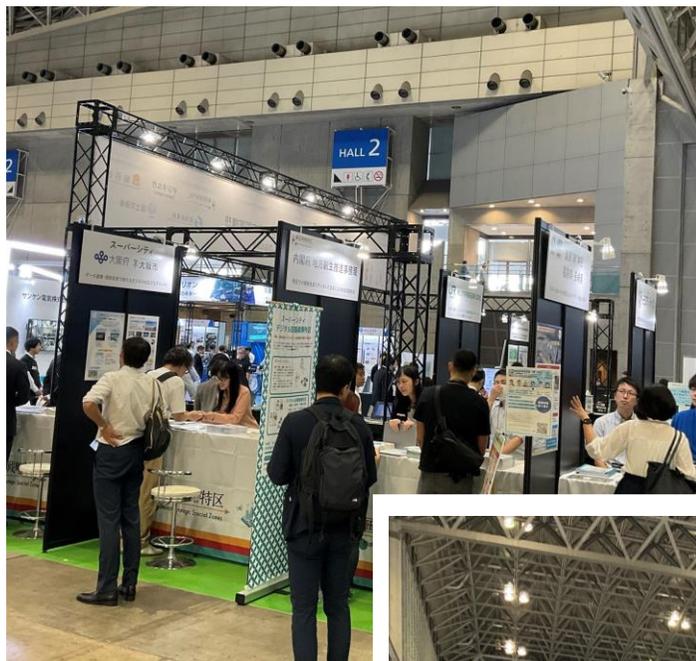
内閣府 地方創生推進事務局

令和6年10月

# CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0 出展内容

つくば市・大阪府市・  
福島県・長崎県とともに、  
国家戦略特区制度による  
地方創生の取組について  
紹介しました。

たくさんのご来場、  
ありがとうございました！



CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0

## 【デジ田特設パビリオン】ブース出展

# 国家戦略特区における地方創生の取組について 自治体や民間等の来場者へ共有・意見交換を各ブースで実施

### 内閣府 地方創生推進事務局



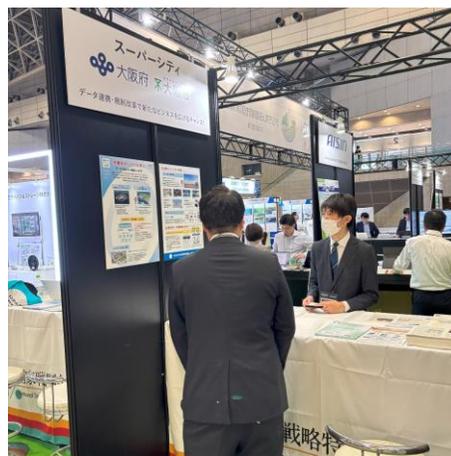
国家戦略特区制度における地方創生の取組として、スーパーシティ・デジタル田園健康特区・連携“絆”特区の概要を紹介

### 【スーパーシティ】 つくば市



つくば市で目指すつくばスマートモビリティに関する取組紹介等、つくばスーパーサイエンスシティ構想について紹介

### 【スーパーシティ】 大阪府・大阪市



夢洲とうめきた2期で実施する大阪スーパーシティの3つのプロジェクトを中心に、取組の推進状況等を紹介

### 【連携“絆”特区】 福島県・長崎県



これまで各県で行われた取組と、連携“絆”特区で目指すドローンのレベル4飛行によるオンデマンド配送等の展望を紹介

CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0

## 【デジ田特設パビリオン】プレゼンステージ①

# スーパーシティに指定されているつくば市・大阪府市より 全体構想および取組の最新状況等について発信

### ScienceCity to SuperScienceCity ～世界のあしたをつくるスーパーサイエンスシティ～

つくば市 政策イノベーション部科学技術戦略課  
課長補佐 大垣 博文 氏

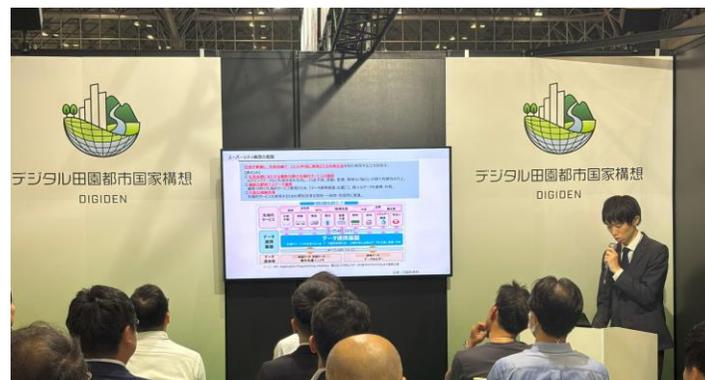


つくばスーパーサイエンスシティ構想の全体像と、  
データ連携による様々なモビリティの統合を目指す  
つくばスマートモビリティについて紹介

[登壇資料はこちら](#)

### 大阪のスーパーシティ データで広げる“健康といのち”

大阪府 スマートシティ戦略部特区推進課  
副主査 山ノ井 健太 氏 (10/17・18担当)  
大阪市 デジタル統括室戦略担当スマートシティ推進G  
担当 戸田 勇也 氏 (10/15・16担当 ※写真)



大阪スーパーシティ構想の柱である夢洲コンストラク  
ション、大阪・関西万博、うめきた2期での取組や、  
大阪広域データ連携基盤ORDENに関する取組を紹介

[登壇資料はこちら](#)

CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0

## 【デジ田特設パビリオン】プレゼンステージ②

# 今年6月に指定された連携“絆”特区の福島県・長崎県より ドローンのレベル4 オンデマンド配送に向けた取組や展望を発信

### ドローンの社会実装に向けた福島県の取組み

福島県 商工労働部次世代産業課  
主幹 山岸 広輔 氏

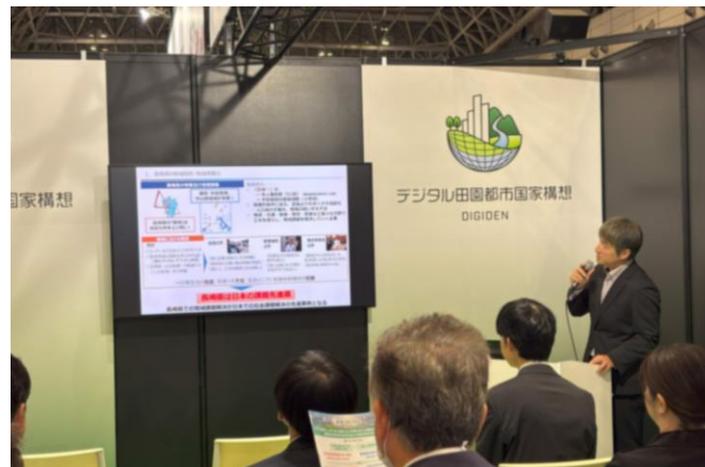


福島イノベーション・コースト構想に基づくこれまでの取組と、ドローンによる物流・配送課題解決に向けた特区としての今後の取組について紹介

[登壇資料はこちら](#)

### 長崎県における取組について

長崎県 企画部デジタル戦略課  
係長 太田 伸吾 氏



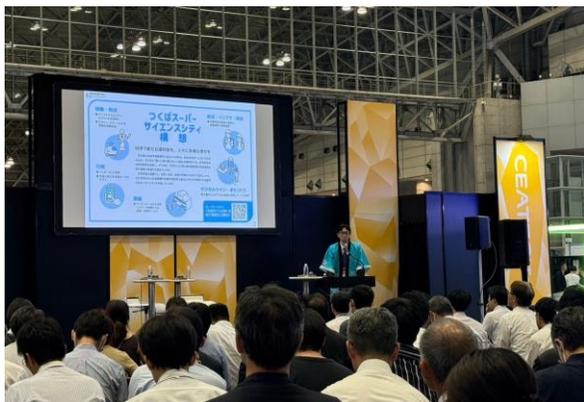
長崎県の地域特性・地域課題の実情を踏まえた、これまでのドローン社会実装の取組と、レベル4 オンデマンド配送を含めた今後のサービス展望を紹介

[登壇資料はこちら](#)

# CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0 トークステージ

様々なチャレンジに挑む五十嵐市長を中心に、住民とともに進めるつくばスーパーサイエンスシティの最新動向として、スマートモビリティの今後の展望について行政・大学・民間企業の視点から議論をおこないました。

動画はこちら（地方創生「内閣官房・内閣府」Youtubeチャンネル）



## <講演概要>

講演タイトル：つくばスーパーサイエンスシティ構想～モビリティの未来（あした）～

登壇者：つくば市 市長 五十嵐 立青 氏

筑波大学 大学執行役員、教授／つくば市顧問 鈴木 健嗣 氏

Community Mobility株式会社 代表取締役副社長 松浦 年晃 氏

内閣府地方創生推進事務局 参事官 松平 健輔 氏

# CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0 カンファレンス

今年6月に指定された連携“絆”特区のうち、福島県・長崎県が進める全国に先駆けたレベル4 オンデマンド配送への挑戦について、官民の関係者から地域間連携での取組紹介および今後の展望について議論をおこないました。

動画はこちら

(地方創生「内閣官房・内閣府」Youtubeチャンネル)



## <講演概要>

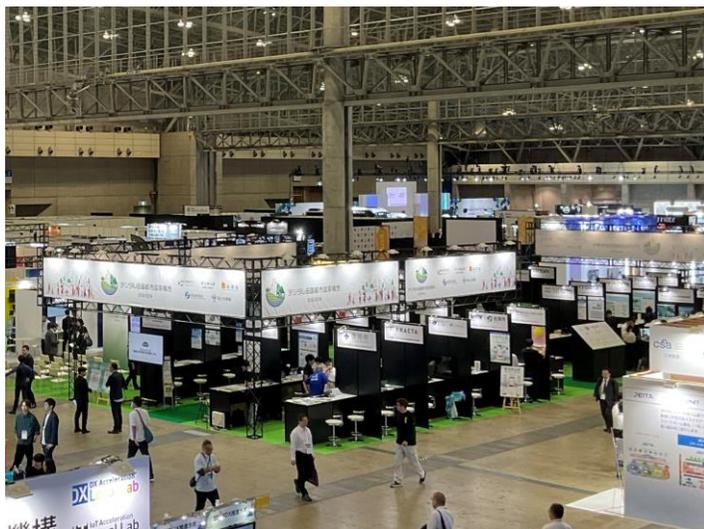
講演タイトル：新技術実装連携“絆”特区～地域間連携×ドローンによる地域課題解決～

登壇者：内閣府地方創生推進事務局 審議官（特区制度担当） 安楽岡 武 氏  
福島県商工労働部次世代産業課 主幹 山岸 広輔 氏  
福島ロボットテストフィールド 副所長 若井 洋 氏  
イームズロボティクス株式会社 代表取締役社長 曾谷 英司 氏  
長崎県企画部デジタル戦略課 課長 高橋 圭 氏  
そらいいな株式会社 配送統括責任者 土屋 浩伸 氏  
内閣府地方創生推進事務局 企画調整官 牟田 紀彦 氏（ファシリテーター）

## CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0

# 【参考】デジタル田園都市国家構想特設パビリオン 概要

CEATEC2024では、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局（現 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局）等の支援のもと設置された特設パビリオンにて、地方創生に関わる産学官民の取組について発信しました。



デジ田特設パビリオンには40を超える団体が出展



ブース内プレゼンステージにて出展者より取組を発信

### <CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0開催概要>

会期 : 2024年10月15日(火)~18日(金)

出展企業・団体 : 808社・団体

会場 : 幕張メッセ

イベント来場者 : 112,014名(前年比25.8%)

企画・運営 : (一社)日本エレクトロニクスショー協会

# CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0

## 【参考】 出展資料

**国家戦略特区制度を活用した地方創生**

2022年4月現在

**スーパーシティ**  
住民が参画し、住民目線で、未来社会の先行実現をめざす  
実業集積つば市  
大府府・大府市  
～データで拓げる「健康といのち」～

**デジタル田園健康特区**  
3自治体が広域的に連携し、健康・医療分野を中心に課題解決に取り組む  
石川黒川賀守市  
高野真茅野市  
岡山県吉備中央町

**連携“絆”特区**  
共通の課題を抱える自治体間の連携により地域課題解決を進める  
福島県・長崎県  
宮城県・熊本県

■ データ連携による新たなサービスの創出に向けて  
スーパーシティ・デジタル田園健康特区の両面では、データ連携は特に重要な要素です。そのためスーパーシティでは、各地域の間でデータ連携基盤を構築し、自治体や民間企業など様々な主体から提供されるデータを一元的に活用可能とするなど様々な分野で新たなサービスの実現を進めています。また、デジタル田園健康特区でも、病院や診療所、自治体、民間サービス等がそれぞれ保有する医療情報（電子カルテ情報、検査情報、処方情報）を連携し、組み合わせて活用するための実現を行っています。

国家戦略特区制度を活用した地方創生  
(パネル)  
[こちらからご覧ください](#)

**スーパーシティ**  
2022年4月現在

住民が参画し、住民目線で、2030年頃に実現される未来社会の先行実現をめざす国家戦略特区の取組

スーパーシティの特徴  
複数分野の先端的サービスの提供 × 複数分野間でのデータ連携 × 大胆な規制・制度改革

つくばスーパーサイエンスシティ構想  
科学で新たな選択肢を、人々に多様な幸せを  
つくばは「つくば第一」を取り巻く広い地域を中心に、市民生活を支える。企業活動や研究開発を促進し、社会課題の解決や革新的な成長を促すさまざまな取組の中心のスーパーシティを定めています。

大府スーパーシティ構想  
～データで拓げる「健康といのち」～  
大府では、暮らしの安心と2種類のデジタルフィールドにおいて、データ連携基盤を活用したデータ連携を通じて、ヘルスケアとモビリティの分野を中心とした先端的サービスの実現を図り、住民QOLの向上と都市競争力の強化をめざしています。

大府広域データ連携基盤 ORDEN  
スーパーシティで実現する新たなサービス・データ連携基盤のため、自治体や民間企業が保有するデータを、関係機関や企業とのデータ連携基盤に統合し、相互に活用可能な環境を整えることで、ビジネスが生まれるデータ連携社会を築いていきます。

スーパーシティ概要  
(パネル・チラシ)  
[こちらからご覧ください](#)

**連携“絆”特区**  
2022年4月現在

少子・高齢化、人手不足、過疎化など地域の抱える課題が深刻化する中、課題解決型の地方創生の新たな国家戦略特区の取組

連携“絆”特区の特徴  
共通の課題を有する地域間の連携 × 規制・制度改革

新技術実証連携“絆”特区  
【指定区域：福島県・長崎県】  
産業拠点形成連携“絆”特区  
【指定区域：宮城県・熊本県】

目標  
ドローン配送等の新技術の早期実証  
半導体関連産業の拠点形成

主な政策課題  
● 離島・中山間地域等における物流・配送をはじめ生活関連サービス（医療、教育等）の維持  
● 産業集積地等による地域活性化  
● 外国人の受け入れ環境整備をはじめ人手不足への対応  
● 産業拠点形成を進めるための環境整備

主な取組  
● 段階的にドローン配送サービスを実証・拡充  
● 10月4日開始による早期実証のオンライン化  
● 巨額資本の調達・上場の積極的推進による社会実装  
● 新産業創出、医療、教育など継続的に取組を進める  
● 半導体関連産業に資する外国人の受け入れ内閣府  
● 半導体関連人材の国内育成  
● 新産業創出、教育、雇用など継続的に取組を進める

国家戦略特区は地域を指定し、規制改革を強力に進め、地方創生と日本全体の国際競争力の強化等に繋げる制度です。

連携“絆”特区概要  
(パネル・チラシ)  
[こちらからご覧ください](#)



# CEATEC2024 TOWARD SOCIETY 5.0

## 【参考】 出展資料



スーパーシティ・デジタル田園健康特区インタビュー

こちらからご覧ください

[つくば市](#)

[大阪府・大阪市](#)

[加賀市](#)



リーフレット「法律などのルールが  
問題で事業がうまくいかず困っている  
ことはありませんか？」

[こちらからご覧ください](#)